

新潟県信濃川流域から
火焰型土器とその仲間たちの土器や土偶がやって来る

縄文美らんまん 火焰土器展

～古の地層から響き来る縄文の波動 人新世を生きる我らへのメッセージ～

竪穴住居を埋めた土の中から出土した火焰型土器
沖ノ原遺跡 縄文中期 津南町教育委員会

2024年4月13日(土)～6月30日(日)

〈縄文ディスカッション〉

『縄文土器に表現された生と性と精』

■ 5月12日(日)午後1:30～4:00

松本直子氏 (岡山大学文明動態学研究所所長)

佐藤雅一氏 (新潟県津南町教育委員会参事・國學院大學兼任講師)

猪風来氏 (猪風来美術館館長・縄文造形家)

〈縄文ワークショップ〉

古の土器を見ながら土器や土偶を作ろう

■ 6月9日(日)午前10:00～

古の縄文と現代の縄文作家が 時空を超えて響き合う!

【津南町】 道尻手遺跡と堂平遺跡出土の縄文土器22点

【三条市】 吉野屋遺跡と長野遺跡出土の縄文土器・土偶8点

【現代縄文作品出品作家】

猪風来 村上原野 土田哲也 兵頭百華

中山裕那 小野真由美 北村ますみ 磯田耕治

宮原由紀夫 黒田知恵 むらかみよしこ

日本博2020未来縄文の杜(仮称)猪風来作「土夢華」
画像提供/長岡市立科学博物館 撮影/鶴田浩規(フォーカル)

[主催] 猪風来美術館 (新見市法曾陶芸館)

[協力] 岡山大学文明動態学研究所 (松本直子)

[共催] 新見市教育委員会

[後援] 信濃川火焰街道連携協議会

新潟県津南町教育委員会 新潟県三条市



猪風来美術館

新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609

TEL・FAX 0867-75-2444

<http://www.ifurai.jp/>

開館時間 | 午前9:30～午後5:00

休館日 | 毎週月曜日(月曜日の場合はその翌日)

観覧料 | 一般400円 高校生200円 団体(15名以上)50円引 中学生以下無料



猪風来美術館 企画展

縄文美らんまん 火焰土器展

一万年を超える縄文文化は日本文化の源流であり、火焰型土器をはじめ器の上部に突起造形を持つ縄文土器は世界の中でも稀有な際立った存在です。これらは母なる大地から湧き立つ生きとし生けるすべての生命と魂のデザイン、縄文人の世界観が湧き出した山海草木虫鳥獣魚人の生命の循環と豊饒を祈る造形表現なのです。このような造形美は他に類例がなく日本列島に花開いた素晴らしい美の文化遺産です。そのなかでも縄文中期(5000年前)に豊かな森と水に恵まれ多種多様な動植物の宝庫であった信濃川流域の縄文人たちによる火焰型土器の造形は圧倒的です。この度は新潟県津南町と三条市から出土した火焰型土器とその仲間たちの土器をお借りし 30点を展示いたします。本物のもつ存在感は 時空を超えて私たちに縄文の息吹と魂を語りかけてくることでしょう。



火焰型土器(津南町道尻手遺跡)



津南町道尻手遺跡出土の土器たち 撮影/小川忠博



王冠型土器(津南町道尻手遺跡)



有孔罎付土器(津南町道尻手遺跡)



土偶(三条市吉野屋遺跡)



王冠型土器(三条市長野遺跡)
撮影/小川忠博



土偶(三条市吉野屋遺跡)



火焰型土器(三条市吉野屋遺跡)
撮影/小川忠博



展示する縄文土器・土偶は、日本遺産「なんだ、コレは!」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化として、日本遺産構成文化財になっております。

〈縄文ディスカッション〉『土器に表現された生と性と精』

■ 5月12日(日)午後1:30~4:00

松本直子氏 (岡山大学文明動態学研究所所長)
「縄文土器から考える土器作りとジェンダー」

佐藤雅一氏 (新潟県津南町教育委員会参事・國學院大學兼任講師)
「中期土器の物語性文様」

猪風来氏 (猪風来美術館館長・縄文造形家)
「縄文視座からつくる現代縄文アート」

〈縄文ワークショップ〉

古の土器を見ながら縄文土器・土偶をつくろう

■ 6月9日(日)午前10:00~

■ 参加料金 2000円

■ 先着15名 申し込みは猪風来美術館 (TEL0867-75-2444)

■会場
猪風来美術館創作館

■アクセス

岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

周辺マップ▶



発掘された縄文時代の遺物が発する不思議な造形と精神波には人類の始原のアートの世界が広がっている。宇宙や自然の波動を感じ、生と死と再生への畏怖からくる祈りの世界観が表現されている。アートの根源性がそこにある。縄文時代とはどのような時代であったのか。縄文の心を読み解き、そこからふたたび現代を展望し、「今を生きる縄文」の可能性を探ってゆくとークを展開する。

新潟県津南町・三条市のご協力のもと 火焰型土器など30点を展示し岡山県民・西日本の方々にじかに見ていただく機会がもてることは非常に意義深く、あわせて猪風来美術館に集い学んでいる縄文作家たちの火焰土器(模写)や火焰文様を取り入れた創作作品も展示。古の縄文土器と現代縄文作品との新鮮な出会いは 未来志向の新しいアート創造への強いメッセージを発していくものと予感しています。